

横断プログラム 履修要領

医療福祉学科

2020 年度入学生対象

横断プログラムについて（健康科学部 医療福祉学科 2020年度入学生）

横断プログラムとは、健康科学部、健康スポーツ学部の各学科に配置されている科目を、他学科の学生が横断的に履修し、自学科の学び+ α の知識を身につけることで、自分の興味・関心に合わせた自分だけの学びを学生自らが作り出すプログラムです。他学科の授業科目を履修し、他分野の知識を身につけることで、視野を広げるだけでなく、自学科のみの学びでは取得できない資格を取得することもできます。

また、救急救命学科で開講している公務員対策授業（教養総合学Ⅰ～Ⅴ）を履修し、自学科の科目と合わせることで、公務員試験へ向けた対策に繋げることも可能です。

◆ 横断プログラム科目一覧 ◆

下記の科目を他学科の学生が横断プログラムとして履修することができます。ただし、科目によっては履修人数の上限をさだめているため、希望する全員の履修が許可されるとは限りません。

健康科学部 心理学科

科目名	単位数	配当年次
睡眠改善学	2	3
地域支援実習	1	1
心理学研究法 A	2	2
健康・医療心理学	2	2
精神疾患とその治療Ⅰ	2	2
精神疾患とその治療Ⅱ	2	3
福祉心理学	2	3

科目名	単位数	配当年次
障害者・障害児心理学	2	2
多変量解析演習	2	3
ストレス・マネジメント演習	1	1
社会・集団・家族心理学 A	2	1
消費者心理学	2	2
学習・言語心理学	2	2
動物心理学	2	3

健康科学部 医療経営学科

科目名	単位数	配当年次
経営学入門	2	1
経営組織論	2	2
人的資源管理論	2	2
会計学	2	2
医学・医療概論	2	1
マーケティング論	2	2 後期 3 前期

科目名	単位数	配当年次
病院管理学	2	1
経営情報処理演習	1	2, 3
医療統計学	2	2, 3
情報システム学入門	2	1
医療制度論	2	1
社会保障論	2	1

科目名	単位数	配当年次
基礎栄養学	2	1
食育演習Ⅲ	1	3

科目名	単位数	配当年次
応用栄養学Ⅰ	2	2
スポーツ栄養サポート論	2	1

科目名	単位数	配当年次
レクリエーション概論	2	1
レクリエーション演習	2	3
スポーツ経営管理学	2	2

科目名	単位数	配当年次
障がい者スポーツ演習	2	3
学校保健	2	1
介護予防運動演習	2	3

◆ 履修方法 ◆

横断プログラムの履修は、年度初め（4月）の履修申請期間中に「横断プログラム科目履修申請書」を教務係に提出してください（WEB履修申請はできません）。「横断プログラム科目履修申請書」はポータルサイトのキャビネットに掲載しています。申請書に記載する提出先・期限までに提出してください。なお、科目によっては履修人数の上限を定めています。人数を超えた場合は、抽選にて履修者を決定します。

【履修上の注意】

- ① 自学科の履修科目と横断プログラム科目が重複する場合は、自学科の学びを優先させ履修すること。
(横断プログラム科目は4年間を通じて履修すること)
- ② 横断プログラム科目は配当年次が上位学年の科目も履修可能
- ③ 時間割上で自学科科目と横断プログラム科目が重複した場合、片方がオンデマンド授業（時間割の授業形態記号「■」の科目のみ）であれば重複履修可能。
- ④ 自学科の科目と横断プログラム科目において科目名称が同名称であった場合でも、異なる科目のため、指定の学科で開講されている科目を履修すること。指定学科で履修していない場合、卒業単位要件に含まれない可能性がある。また自学科で定める資格申請には、他学科の同名科目を履修していても用いることはできない。
- ⑤ 所属キャンパスと異なるキャンパスで開講される科目については、オンラインまたはオンデマンドで対応できる科目もある。希望者は、履修申請前に教務係を通して、授業担当教員に相談すること。

◆ 横断プログラムコースについて ◆

横断プログラム科目は、自身の興味・関心に合わせて自由に科目を選択していただくこともできますが、他学科の科目を関連づけて履修し、より学修成果を高めるために履修モデルを作成しています。なお、履修モデルは、「キャリア形成型モデル」、「資格取得型モデル」の2モデルに分かれ、それぞれに履修モデル（コース）を記載しています。

また、各履修モデルで定める単位を全て修得すると、卒業時に配付する「ディプロマ・サプリメント」に達成したコース名が記載されます。

◆ 修得単位について ◆

「卒業に必要な単位数」として、下図の赤枠のとおり 10 単位を『オプション科目』、『所属学科の専門教育科目』、『他学科の専門教育科目』から選択して修得する必要があります。その単位を横断プログラム科目から選択することで、幅広い知識を得ることが可能です（もちろん、横断プログラム科目によらず所属学科の専門教育科目を履修し、より深く専門知識を修得することも可能です）。また、10 単位を超えて単位を修得することも可能です。

健康科学部

科目区分	心理学科			医療経営学科		
	必修	選択	その他	必修	選択	その他
スタンダード科目	15	—	—	15	—	—
オプション科目	—	19 ^{*1}	}10 ^{*3}	4	4	}10 ^{*1}
専門教育科目	—	—		17	64	
	—	—		10	64	
計	20	60 ^{*2}		27	64	
	80単位以上			91単位以上		
卒業必要単位数	35	79	10	46	68	10
	124単位以上			124単位以上		

科目区分	医療福祉学科														
	医療福祉学専攻				介護福祉学専攻				保育福祉学専攻						
	必修	選択必修	選択	その他	必修	選択必修	選択	その他	必修	選択必修	選択	その他			
スタンダード科目	15	—	—	—	15	—	—	—	15	—	—	—			
オプション科目	—	—	8	}10 ^{*3}	—	—	8	}10 ^{*2}	—	—	8	}10 ^{*3}			
専門教育科目	1	4	42		10 [*]	1	—		24	10 [*]	1		2	30	10 ^{*3}
	10	34	—		10	56	—		—	10	48		—	—	—
計	11	38	42		11	56	24		11	50	30		—	—	
	91単位以上				91単位以上				91単位以上						
卒業必要単位数	26	38	50	10	26	56	32	10	26	50	38	10			
	124単位以上				124単位以上				124単位以上						

※履修申請要領抜粋

◆ 横断プログラム履修モデル一覧 ◆

【キャリア形成型モデル】

モデル名	教員養成モデル					
身に付く知識・能力のキーワード	教育、学校、福祉、教諭					
想定される進路	高等学校					
医療福祉学科科目			他学科科目			
科目名	単位数	配当年次	科目名	単位数	配当年次	提供学科
教育原論	1	1	福祉心理学	2	3	心理学科
教職概論	2	1				
福祉科教育法Ⅰ	2	2,3				
履修方法						
4科目全てを履修すること。						

モデル名	保育スキルアップモデル					
身に付く知識・能力のキーワード	こども、保育、食育、心理、睡眠、児童虐待					
想定される進路	<ul style="list-style-type: none"> ・子どもの成長過程で大切な「食」「睡眠」「運動」の専門的な支援が行える保育士 ・保育所、児童福祉施設、企業の商品開発 					
医療福祉学科科目			他学科科目			
科目名	単位数	配当年次	科目名	単位数	配当年次	提供学科
保育原理	2	1	睡眠改善学	2	3	心理学科
子どもの保健	2	2	基礎栄養学	2	1	医療栄養学科
子どもの食と栄養	2	1	レクリエーション演習	2	3	健康スポーツ学科
保育の心理学	2	1				
保育の計画と評価	2	1				
子どもの食と栄養	2	1				
履修方法						
キー科目 6科目の中から4科目以上と「睡眠改善学」「基礎栄養学」レクリエーション演習の中から1科目以上を履修すること。						

モデル名	ソーシャルベンチャーモデル					
身に付く知識・能力のキーワード	ベンチャー、社会貢献、課題解決					
想定される進路	一般企業、起業、NPO 法人、NGO 法人					
医療福祉学科科目			他学科科目			
科目名	単位数	配当年次	科目名	単位数	配当年次	提供学科
就労支援サービス	1	3	経営学入門	2	1	医療経営学科
現代社会と福祉Ⅰ	2	1	経営組織論	2	2	医療経営学科
現代社会と福祉Ⅱ	2	2	人的資源管理論	2	2	医療経営学科
地域福祉の理論と方法Ⅰ	2	2	マーケティング論	2	2, 3	医療経営学科
地域福祉の理論と方法Ⅱ	2	3	会計学	2	2	医療経営学科
児童や家族に対する支援と児童・家庭福祉制度	2	1				
障害者に対する支援と障害者自立支援制度	2	2				
高齢者に対する支援と介護保険制度Ⅰ	2	1				
高齢者に対する支援と介護保険制度Ⅱ	2	1				
保育者論	2	1				
ウェルネスビジネス論Ⅰ	2	2				
ウェルネスビジネス論Ⅱ	2	2				
履修方法						
キー科目 12 科目の中から「ウェルネスビジネス論Ⅰ」「ウェルネスビジネス論Ⅱ」を含む 6 科目以上と経営科目 5 科目の中から「経営学入門」を含む 2 科目以上を履修すること。						

モデル名	健康ビジネスモデル					
身に付く知識・能力のキーワード	ヘルスケア、スポーツビジネス、食と健康					
想定される進路	<ul style="list-style-type: none"> 健康・スポーツの知識を活かして健康関連商品の開発・販売、地域の健康づくりなどを行う 健康産業、スポーツ産業、営業職 					
医療福祉学科科目			他学科科目			
科目名	単位数	配当年次	科目名	単位数	配当年次	提供学科
現代社会と福祉Ⅰ	2	1	健康・医療心理学	2	2	心理学科
認知症の理解	2	3	福祉心理学	2	3	心理学科
地域福祉の理論と方法Ⅰ	2	2	精神疾患とその治療Ⅰ	2	2	心理学科
地域福祉の理論と方法Ⅱ	2	3	精神疾患とその治療Ⅱ	2	3	心理学科
児童や家族に対する支援と児童・家庭福祉制度	2	1	睡眠改善学	2	3	心理学科
障害者に対する支援と障害者自立支援制度	2	2	病院管理学	2	1	医療経営学科
高齢者に対する支援と介護保険制度Ⅰ	2	1	介護予防運動演習	2	3	健康スポーツ学科
コミュニケーション論	2	1	レクリエーション概論	2	1	健康スポーツ学科
ウェルネスビジネス論Ⅰ	2	2	レクリエーション演習	2	3	健康スポーツ学科
ウェルネスビジネス論Ⅱ	2	2	スポーツ経営管理学	2	2	健康スポーツ学科
			障がい者スポーツ演習	2	3	健康スポーツ学科
履修方法						
<p>キー科目 10 科目の中から「ウェルネスビジネス論Ⅰ」「ウェルネスビジネスⅡ」を含む 5 科目以上と心理科目 5 科目の中から「睡眠改善学」を含む 2 科目以上、経営科目の「病院管理学」、スポーツ科目 5 科目の中から 2 科目以上を履修すること。</p>						

モデル名	地方行政職モデル					
身に付く知識・能力のキーワード	地域政策、まちづくり、自治体、地域支援					
想定される進路	公務員／地方自治体／NPO 法人／NGO 法人					
医療福祉学科科目			他学科科目			
科目名	単位数	配当年次	科目名	単位数	配当年次	提供学科
ウェルネスビジネス論Ⅰ	2	2	地域支援実習	1	1	心理学科
ウェルネスビジネス論Ⅱ	2	2	経営組織論	2	2	医療経営学科
相談援助の基盤と専門職Ⅰ	2	1	教養総合学Ⅰ	2	2	救急救命学科
相談援助の基盤と専門職Ⅱ	2	1	教養総合学Ⅱ	2	2	
相談援助の理論と方法ⅠA	2	2	教養総合学Ⅲ	2	3	
スタンダード科目・オプション科目			教養総合学Ⅳ	2	3	
哲学	2	1	教養総合学Ⅴ	2	4	
物理学	2	1				
文化人類学	2	1				
文学	2	1				
地域創生と危機管理	1	1				
履修方法						
<p>キー科目 10 科目、心理科目「地域支援実習」、経営科目の「経営組織論」の中から「ウェルネスビジネス論Ⅰ」「ウェルネスビジネスⅡ」を含む 6 科目以上を履修すること。</p> <p>「教養総合学」についてはⅠから順次履修することが望ましい。</p>						

【資格取得型モデル】

横断プログラムにおいて、所定の科目の単位を修得することで、次の資格の受験資格を取得することが可能です。

モデル名(目指す資格)	初級障がい者スポーツ指導員					
身に付く知識・能力のキーワード	障がい者スポーツ／身体の機能／介護予防					
想定される進路	障害者施設／社会福祉協議会／スポーツ関連団体／福祉用具関連企業／リハビリテーション施設					
医療福祉学科科目			他学科科目			
科目名	単位数	配当年次	科目名	単位数	配当年次	提供学科
障がいの理解	2	1	障がい者スポーツ演習	2	3	健康スポーツ学科
人体の構造と機能及び疾病	2	1	介護予防運動演習	2	3	健康スポーツ学科
障害者に対する支援と障害者自立支援制度	2	2				
認知症の理解	2	3				
高齢者に対する支援と介護保険制度 I	2	1				
履修方法						
健康スポーツ学科科目「障がい者スポーツ演習」を履修することで受験資格が得られます。加えて、学科ごとに定める関連科目を履修していることが望ましい。						

モデル名(目指す資格)	睡眠改善インストラクター					
身に付く知識・能力のキーワード	不眠改善／身体の機能／生活習慣の改善					
想定される進路	障害者施設／高齢者施設／社会福祉協議会／健康関連企業／リハビリテーション施設					
医療福祉学科科目			他学科科目			
科目名	単位数	配当年次	科目名	単位数	配当年次	提供学科
認知症の理解	2	3	睡眠改善学	2	3	心理学科
人体の構造と機能及び疾病	2	1				
子どもの保健	2	2				
子どもの食と栄養	2	1				
発達と老化の理解	2	2				
障害者心理学	2	1				
障がいの理解	2	1				
履修方法						
自学科科目から3科目6単位に加え、心理学科科目「睡眠改善学」2単位を修得すること。						

モデル名（目指す資格）	介護予防運動トレーナー					
身に付く知識・能力のキーワード	介護予防／身体の機能／生活習慣の改善					
想定される進路	高齢者施設／障害者施設／社会福祉協議会／スポーツ関連団体／福祉用具関連企業／リハビリテーション施設					
医療福祉学科科目			他学科科目			
科目名	単位数	配当年次	科目名	単位数	配当年次	提供学科
障がいの理解	2	1	介護予防運動演習	2	3	健康スポーツ学科
人体の構造と機能及び疾病	2	1	障がい者スポーツ演習	2	3	健康スポーツ学科
障害者に対する支援と障害者自立支援制度	2	2				
認知症の理解	2	3				
高齢者に対する支援と介護保険制度 I	2	1				
履修方法						
健康スポーツ学科科目「介護予防運動演習」の単位を修得することで受験資格が得られます。加えて、学科ごとに定める関連科目を履修していることが望ましい。						

以上